

(様式5)

事業所名 グループホームほほえみ

目標達成計画

作成日：平成 23年 11月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	料理の味や質、量、環境等を職員が共有するために同じテーブルで同じ物を食べる。	昼食に同じ物を同じテーブルで食べる。	朝食に関してはすでに夜勤者が同じ物を同じテーブルで食べている。昼食に最低1名のスタッフが同じ物を同じテーブルで食べる。検食簿を作成し味や量などの評価を実施する。	1ヶ月
2	35	避難訓練回数を多く、食糧備蓄の用意をする。	最低2週間分の水・米・調味料・野菜などを備蓄する。	水→井戸あり、発電機ありにて確保済み(水質検査済み) 米→蔵に半年分以上備蓄あり 調味料→みそ:1樽確保、醤油・塩:常に余分に備蓄 野菜→畑にて常時栽培	0ヶ月
3	45	いつでも入浴可能にする体制作り。	入りたい時に入れる状態にする。	入浴日以外でも希望や必要に応じて入浴が出来るように声かけ観察を実施する。	1ヶ月
4	1	地域密着型に対する理念	現状維持	すでに職員会議にて話し合いを数回実施しており、もともと地域とのふれあいが多々ある状態で開設されており、現状のままでも十分であると協議が済んでいる。今回の職員会議でも現状のままが良いのではという意見で一致したため変更せず。	0ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。